一麦出版社の新刊

◎12月3日発売

『日本近代文学と聖書』

大田正紀

定価4840（本体4400＋消費税）円

四六判・上製本・302頁

ISBN978-4-86325-154-0　C0095

永遠の「まなざし」に屹立する鷗外

〈愛〉の欠如に苦悩する漱石

福沢諭吉から阪田寛夫まで

傍系の文学者を貫く「聖書」の光を探る試み

反キリスト教と評価されがちな作家にも
キリスト教受容の深さがある！

森鷗外
夏目漱石
福沢諭吉
サミュエル・スマイルズ
内村鑑三
山本周五郎
三浦綾子
遠藤周作
阪田寛夫

〈著者紹介〉

大田正紀　OHTA Masaki

1949年三重県紀北町生まれ．1970年関西学院大学文学部卒業．カワムラサイクルでの勤務の後，1976年関西学院大学大学院（文学研究科日本文学専攻）に入学し，水谷昭夫教授の指導を受ける．1980年同大学院後期博士課程中退．聖和大学助教授を経て，梅花女子大学教授．2013年同大学を定年退職．梅花女子大学名誉教授．

著書『近代日本文芸試論――透谷・藤村・漱石・武郎』桜楓社，1989年，『高貴なる人間の姿形――近代文学と神』彼方社，1995年，『近代日本文芸試論II――キリスト教倫理と恩寵』おうふう，2004年，『祈りとしての文芸　三浦綾子・遠藤周作・山本周五郎・有島武郎』日本キリスト改革派西部中会文書委員会，2006年，『文章表現』桜楓社，1990年など．